

学 年
中・高

文と文とをつなぐ言葉

年 組 名 前

前と後の二つの文が、べつのことを書いていきます。この文の間に言葉を入れると、文がつながり、わかりやすくなります。例にならって、当てはまる言葉を入れて、前後の文をつなぎましょう。

一、例のように、「上の文」と「下の文」のあいだに、上下の文をくつつけるつなぎの言葉を、うまく意味がつながるように書きましょう。

(例) 試合に勝って、うれしかった。(だけど)、二回戦で負けて残念だった。

先生はとても優しい。(しかし)、いじわるをすると、厳しく指導する。

わたしは、早起きが苦手です。(それで)、朝食を食べないことがあります。

病気がすっかり治りました。(そして)、元気に学校へ行っています。

(一) 今日、私は、朝から熱がありました。()、私は学校を休みました。

(二) 昨日、宿題がたくさんありました。()、やり終えるのに、二時間かかりました。

(三) 明日は、遠足で京都に行く予定です。()、天気予報は、雨のちくもりなので、心配です。

(四) 明後日は、テストがあります。()、全然勉強していません。

(五) ぼくは、牛乳が大好きです。()、給食が待ち遠しいです。

(六) わたしは、図書室に行きました。()、しずかに本を読みました。

(七) 試合に負けて悔しかった。()、次の日から、一生懸命練習した。

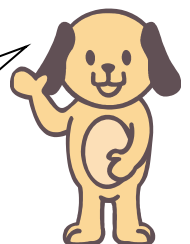
(八) 先生はとても厳しい。()、よくがんばった時は、本気でほめてくれる。

前の文と後の文が、続いているか反対かを考えてみよう



「だけど」「しかし」「けれど」「でも」は、前の文とちがうことや反対のことをつなぐときに使います。

「そして」「それで」「だから」は、前の文の続きや結果などをつなぐときに使います。



学 年
中・高

文と文とをつなぐ言葉

前と後の二つの文が、べつのことを書いています。この文の間に言葉を入れると、文がつながり、わかりやすくなります。例にならって、当てはまる言葉を入れて、前後の文をつなぎましょう。

一. 例のように、「上の文」と「下の文」のあいだに、上下の文をくつつけるつなぎの言葉を、うまく意味が つながるように書きましょう。

(例) 試合に勝って、うれしかった。(だけど)、二回戦で負けて残念だった。

先生はとても優しい。(しかし)、いじわるをすると、厳しく指導する。

わたしは、早起きが苦手です。(それで)、朝食を食べないことがあります。

病気がすっかり治りました。(そして)、元気に学校へ行っています。

(一) 今日、私は、朝から熱がありました。(それで)、私は学校を休みました。

(二) 昨日、宿題がたくさんありました。(そして)、やり終えるのに、二時間かかりました。

(三) 明日は、遠足で京都に行く予定です。(だけど)、天気予報は、雨のちくもりなので、心配です。

(四) 明後日は、テストがあります。(でも)、全然勉強していません。

(五) ぼくは、牛乳が大好きです。(それで)、給食が待ち遠しいです。

(六) わたしは、図書室に行きました。(そして)、しずかに本を読みました。

(七) 試合に負けて悔しかった。(だから)、次の日から、一生懸命練習した。

(八) 先生はとても厳しい。(だけど)、よくがんばった時は、本気でほめてくれる。

前の文と後の文が、続いているか反対かを考えてみよう



「だけど」「しかし」「けれど」「でも」は、前の文とちがうことや反対のことをつなぐときに使います。

「そして」「それで」「だから」は、前の文の続きや結果などをつなぐときに使います。

